

事務事業評価シート

評価対象年度 平成 19 年度

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	寿楽荘 入所者生活費				
担当課係名	寿楽荘	課	係	作成者	嶋村武雄
総合計画での 位置づけ	施策の大綱	すべての生命を慈しむ健康福祉のまち			総合計画の ページ
	基本計画	高齢者福祉、介護保険事業の充実			
	主要施策	高齢者介護予防の推進			54
予算費目	一般	会計	3 款 民生費	1 項 社会福祉費	4 目 養護老人ホーム費
事業期間	平成	年度	～ 平成	年度	新規 / 継続の区分
性質区分	☒ 市民サービス ☐ 公共事業 ☐ 施設維持管理 ☐ 補助金 ☐ 内部管理				
根拠法令等	老人福祉法				
事務区分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務				
運営方法	☐ 直営 ☒ 直営(一部民間委託) ☐ 民間委託(全部) ☐ 補助				

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	65歳以上の者であって、身体上若しくは精神上又は環境上の理由及び経済的な理由により、居宅での生活が困難な者。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	老人福祉法の理念に基づき、居宅において養護を受けることが困難な者を入所させ、生活支援する。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	入所者の生活支援に関する計画に基づき、社会復帰の促進及び自立のために必要な指導及び訓練その他の生活支援を行うことにより、入所者がその有する能力に応じて自立した日常生活を営むことができるようにする。

【事務事業の推移】

(単位：千円)

	項 目		単位	18年度実績	19年度実績	年度実績	
効果	活動指標	入所定員	人	29,200	29,280		
	成果指標	入所実績	人	28,445	26,793		
投下コスト	項 目		総事業費	18年度決算額	19年度決算額	年度決算額	
	事業費（人件費を除く）(A)			52,103	49,735		
	財源内訳	国 庫 支 出 金					
		県 支 出 金					
		地 方 債					
		そ の 他					
		一 般 財 源		52,103	49,735		
		人 件 費 (B)		—			
	職 員 数		—	12.0	12.0		
	職 員 平 均 人 件 費		—	7,853	8,071		
	(A) + (B) 投下コスト		—	52,103	49,735		
	単位コスト	活動指標1単位当たりコスト (円)		— —	1,784	1,699	
		市民1人当たりのコスト(円)		—	1,634	1,584	

【事務事業の今までの成果】

限られた入所者生活費を有効に活用し、入所者が自立に向けた生活を営むことができるよう支援している。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	行政改革を推進する中で、施設の民間委託が増えている。
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	養護老人ホームの特殊性を理解していない。

【一次評価】

判 定	事 業 の 方 向 性		判 定 に 至 っ た 理 由
B	A	現状のまま継続（実施）	事業運営の妥当性と経済性を考えると、民営化による改善が図られるため、B判定とした。
	B	見直しの上で継続（実施）	
	C	大幅な見直しの上で継続（実施）	
	D	休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	

一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

老朽化による施設改修が必要となっているが、限りなく民営化を推進することにより、経済的な改善を図る。

【二次評価】

判 定	判 定 に 至 っ た 理 由
B	入所者に対する生活支援として必要な事業である。引き続き、入所者の生活支援として充実させる必要があると考える。

一次評価診断図

